

建築鉄骨構造技術支援協会「鉄骨技術フォーラム2020」

ー鉄骨造建築物の構造設計・鉄骨製作等における疑問に答えるー

開催の趣旨

今回のフォーラムでは、昨年に引き続き、角形鋼管柱を用いた中小規模鉄骨造建築物を主な対象として、鋼材、構造設計、鉄骨製作、現場施工等における会員各位の日頃から抱える疑問点に当協会の関係者が回答し、更にそれらについて意見交換を行うことを考えております。フォーラムの詳細は以下の通りです。

尚、今回のフォーラムでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から三密を避けるため会場の定員を制限する一方、WEB配信を行うことにより多くの方々に情報提供ができるよう配慮するつもりでおります。鉄骨構造物に関心をお持ちの多くの方々の参加をお待ちしております。

(一社)建築鉄骨構造技術支援協会 理事長 稲田達夫

記

主催 (一社)建築鉄骨構造技術支援協会

後援 (一社)東京構造設計事務所協会 (ASDO)

日時 2020年10月23日(金) 13:30~16:30 (開場:13:00)

場所 建築家会館ホール (東京都渋谷区神宮前2-3-16、東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩8分)

参加費 会員6,000円、非会員8,000円 ※ASDO会員、全青会会員は当協会会員として扱います
(WEB配信希望の場合は、会員3,000円、非会員6,000円)

定員 会場参加 50名、WEB配信 50名 (いずれも申し込み順とします)

プログラム

1. 理事長挨拶

2. 鉄骨造建築物の設計・鉄骨製作等における疑問に答える。

コーディネータ: 田村和夫

回答者: 伊藤優、稲田達夫、千田光、護雅典、増田浩志、山内哲理、横山幸夫

質問例を以下に示します。今後とも、9月18日まで質問を受け付けます。下記連絡先にお寄せ下さい。

- ①高炉材と電炉材の性能の差
- ②大電流溶接機による省力化の問題点
- ③軽微な間柱柱脚の樹脂アンカーへの変更
- ④ステンレスの電蝕の問題
- ⑤小規模物件の組立溶接の位置・ビード長さ
- ⑥ターンバックル筋交のボルトの締め付け
- ⑦高張力鋼の歪矯正
- ⑧高力ボルト孔の孔明け加工の精度管理
- ⑨絞り柱の絞りポイントについて
- ⑩ロールHとビルトHの性能の差

- ⑪通しダイヤフラムの幅と仕口
- ⑫アンカーボルトのJ型・L型の採用の決め方
- ⑬柱の片側に仕口が集中する場合の取り合い
- ⑭トッププレートのもっき孔処理について
- ⑮小径角形鋼管の溶接要領について
- ⑯斜めに取り付く部材の隅肉溶接方法
- ⑰コロナ禍における受入検査等の在り方
- ⑱合格欠陥に手直しを求められた場合の対応
- ⑲現場溶接の外部階段のジョイントの取合い
- ⑳小梁ガセットのずれによる強度上の問題

鉄骨技術フォーラム2020参加申し込み書 FAX 045-441-1196 ※お一人ずつお申込み下さい。2020年 月 日

フリガナ		フリガナ		会 員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/>
氏 名		会社名		
会社住所				電話
会場参加希望 <input type="checkbox"/> 、WEB配信希望 <input type="checkbox"/>				FAX
メールアドレス：		(WEB配信希望の場合は必ず記入をお願いします)		

本申込書をFAXのうえ、下記口座に参加費をお振り込みください。

みずほ銀行 横浜駅前支店 普通預金 口座番号 2427243

口座名：一般社団法人 建築鉄骨構造技術支援協会 シヤ)ケンチクテツコソコウゾウギジュツシエンキヨウカイ

連絡先 建築鉄骨構造技術支援協会事務局

東京都中央区日本橋茅場町 2-2-2 三恵ビル 5F Tel 03-5843-6489 e-mail : info@sasst.jp

